

平成29年度 宮城県看護協会北支部 見学会交流会「診て・触れて・学ぼう」

10月28日に宮城県看護協会北支部教育委員会による交流会見学会「診て・触れて・学ぼう」がスキルスラボで開催されました。この研修には、県内の教育及び医療機関・行政等で働く看護師21名の方が参加しました。交流会では、スキルスラボの荒田先生が施設の概要やシミュレーション医学教育についての講義を行い、その後、施設見学やシミュレータの体験、最後に意見交換を行いました。体験では、聴診・採血・導尿・心肺蘇生法の手技指導に用いられるシミュレータで実際に手技を体験していただきました。

心肺蘇生法では、女性の方が多かったこともあり、救急車が来るまで十分な深さで胸骨圧迫を続けるという大変さを再認識した様子でした。参加者は、初めて体験するシミュレータも多かったようで、「もっと詳しく講習会を行ってほしい」と、強く興味を持っていただけたようでした。また、「普段看護をしている中で、対応する機会の少ない病態に遭遇した時にうまく対応できるかという不安があったが、こうして練習して学べる機会があると自信につながる」との声をいただきました。最後の意見交換では、「自分達が以前に得た知識は更新され新しくなった」、「知識では分かっているけど実際の練習がもっと必要」等の意見がありました。

